



室蘭工業大学地域共同研究開発センターニュースレター No.83

雑誌名	室蘭工業大学地域共同研究開発センターニュースレター
巻	83
発行年	2005-07
URL	http://hdl.handle.net/10258/00009307

平成17年度第2回CRDセミナー

日時：平成17年度8月5日(金)

10時30分～12時00分

場所：本学 専門校舎 3階 A304

共催：産学官連携推進事業実行委員会

地域共同研究開発センター研究協力会

小型超音速飛行実験機の研究開発

宇宙開発における宇宙利用の方針、現況およびその課題はロケット系をはじめとする輸送系の開発促進、利用機会拡大に大きな影響を与える。輸送系の研究・開発においては、宇宙利用における推進系、ミッション系の現況の課題の把握および対策について確実な把握と理解が必要である。

本研究では、まず衛星系、JEM、実験装置等の現況、課題、対策を把握する。

例として、衛星推進系では衛星の大型化に伴い、軌道投入精度を向上させるために制御性のよい液体アポジエンジンの開発が必要となり、四酸化二窒素(NTO)とヒドラジン(N_2H_4)を燃料とした二液式アポジエンジンの開発に成功している。

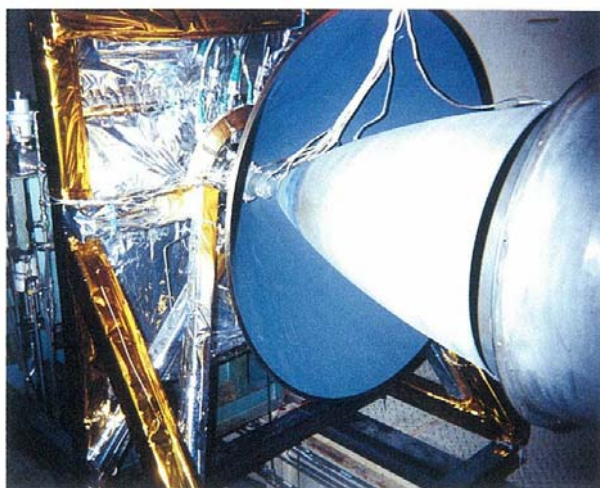
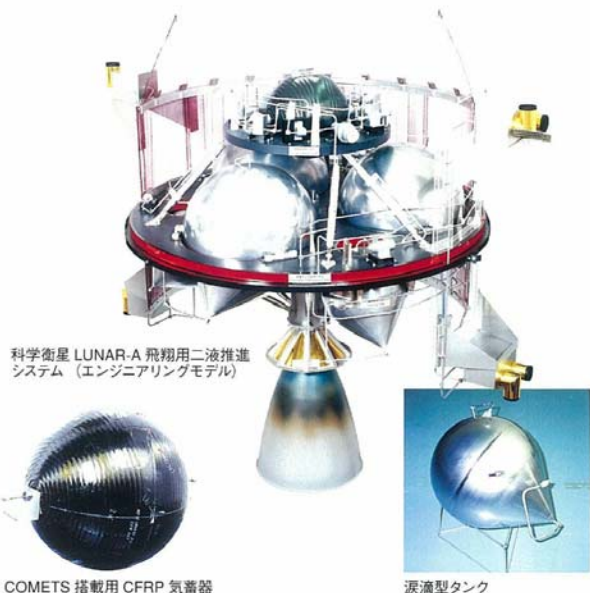
これらの推進系の統合化とモジュール化がテーマであり、特にシステムのモジュール化により、開発期間の短縮、低コスト化が可能になる。世界的に本システムの開発実績は少なく、世界の市場を切り開いていくことが出来る。

また、アポジエンジンや従来の小型スラスタを統合的に組み合わせて衛星用推進システムを設計、製作し、その成果は軌道上ドッキング実験や各種通信等(例：DRTS, WINDS)に役立てられている。

JEM、実験装置等についても同様の整理をし、輸送系にとってミッションとしての現状と課題を明確にしていく。

また、これらの宇宙機器開発に対する技術者倫理についても現況について把握し、研究開発において人材育成に反映していく。

客員教授(地域共同研究開発センター) 東野 和幸
(株)IHIエアロスペース 宇宙技術部 部長



通信放送技術衛星 (COMETS) 用二液式アポジエンジン

【コラボ産学官創立 1 周年記念式典】

平成 17 年 5 月 12 日(木) 13:00～18:45 コラボ産学官プラザ in TOKYO に於いてコラボ産学官主催の創立 1 周年記念式典が行われた。特別講演では「産学官連携によるベンチャーの創出」前法政大学総長 清成忠男氏、パネルディスカッションでは「産学連携ファンドの活用について」政策研究大学院大学教授 橋本久義氏が講演し、パネリストとして三洋エンジニアリング(株) 代表取締役社長 五十嵐秀夫氏、国立大学法人福井大学大学院工学研究科教授 堀照夫氏、経済産業省中小企業庁技術課課長 後藤芳一氏、多摩中央信用金庫主任調査役 森屋一訓氏、全国地方新聞社連合会会長 杉江良之氏で討論が行われた。講演後、懇親情報交換会があり参加者相互の親睦を深めた。参加者は 300 人。



【第 4 回産学官連携推進会議、展示会（企業・大学・研究機関・自治体等の研究成果デモ）】

平成 17 年 6 月 25 日(土) 10:00～21:00、26 日(日) 8:45～13:00 国立京都国際会館、京都宝ヶ池プリンスホテルに於いて第 4 回産学官連携推進会議、展示会が行われた。参加者は 3,500 人

主催：内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、日本経済団体連合会、日本学術会議 共催：厚生労働省、農林水産省、国土交通省、環境省、科学技術振興機構、新エネルギー・産業技術総合開発機構、日本学術振興会、宇宙航空研究開発機構、海洋研究開発機構、理化学研究所、産業技術総合研究所、日本原子力研究所、情報通信研究機構、情報・システム研究機構他



【平成 17 年度研究協力会役員会及び総会開かれる】

平成 17 年 7 月 1 日(金) 14:00～18:30 ホテルサンルート室蘭に於いて平成 17 年度の役員会、及び総会が開かれた。役員会、総会では役員の改選と今年度の事業計画等が話し合われ、審議の結果、可決され閉会した。その後、特別講演として、「環境科学・防災研究センターの活動状況について」室蘭工業大学環境科学・防災研究センターセンター長 杉岡正敏氏が講演を行った。最後に懇親会が開かれ、参加者相互の親睦を深めた。参加者は 33 人。



【平成 17 年度第 1 回 CRD セミナー】

平成 17 年 7 月 6 日(水) 14:40～16:10 本学専門校舎 3 階 A304 室で産学官連携推進事業実行委員会、地域共同研究開発センター研究協力会の共催。建設システム工学科助教授 後藤芳彦の司会により、テーマ「北海道南西部の火山防災に関する共同研究」と題して客員教授(NPO 法人環境防災総合政策研究機構) 宇井忠英が講演を行った。講演後、講演者と聴講者の間で活発な討論が行われた。参加者は 180 人。

